

第51回保育総合研修会 開催要綱

テーマ

新指針・要領が描く 保育の未来とは

～全私保連が提言する『希望の保育指針』と、
私たち保育者の視点から『新指針・要領』を検証する～

趣 旨

令和9年4月の告示に向けて、保育所保育指針や幼保連携型認定こども園教育・保育要領等（以下、指針・要領）の次期改定（訂）作業が進められています。

今回の改定（訂）に向けては、初めてこども家庭庁・保育専門委員会と文部科学省・幼児教育ワーキンググループの合同会議が開催されました。その議論や取りまとめの論点では、さらなる「幼保一体化」、そして0歳から18歳までを見据えた「学びの連続性」を強く意識した方向性が示されています。

乳児期（0・1・2歳児）からの育ちと学びの重要性が強調されることは、保育の意義の再評価につながる可能性がある反面、本来は養護と教育が一体的に行われるべき保育の営みにおいて、教育の側面のみが強調され、養護がおろそかになりかねないという懸念も生じます。

本研修会では、これまでに示された指針・要領改定（訂）の方向性を踏まえ、その本質的な意義を深く読み解きます。さらに、「こども基本法」や「はじめの100か月の育ちビジョン」が掲げる理念との整合性をいかに担保し、今後の保育制度や私たちを取り巻く保育環境にどのような影響を及ぼすのかを検証します。

目まぐるしく変化する時代の中で、私たち自身がどのような指針・要領を望み、どのような保育の未来を描くのか。変えていくべきものと、変えてはならないものは何か。参加者の皆様とともに、これからの保育のあり方を深く考えあう機会にしたいと思います。ぜひご参加ください。

開催日 令和9年1月20日(水)～22日(金)

会場 神戸市・ANA クラウンプラザホテル神戸

定員 500名

参加費 会員 31,000円・非会員 38,000円

※傷害保険料等は含まれておりません。必要な方はご自身でご加入ください。

主催 公益社団法人全国私立保育連盟

協力 公益社団法人神戸市私立保育園連盟

協賛 AIG 損害保険株式会社・東京海上日動火災保険株式会社・
有限会社ゼンポ・株式会社サンワールド

●旅行企画・実施 名鉄観光サービス株式会社

日程・内容

第1日目：全体会

- 開会挨拶
- 行政説明…こども家庭庁（依頼予定）

シンポジウム

テーマ：**指針・要領の改定（訂）を見据えて、
保育と社会の未来を描く**
～「保育制度の変遷」・「主体性・対話・子ども理解」
の視点から～

シンポジスト：加藤 繁美 氏（山梨大学 名誉教授）

川田 学 氏（北海道大学大学院 教育学研究院附属 子ども発達臨床研究
センター 教授）

久保 健太 氏（大妻女子大学 准教授／全私保連 保育・子育て総合研究機構
研究企画委員会 外部委員）

趣 旨

来年度（令和9年度）に告示される指針・要領の改定（訂）は、私たちの保育にどのような変化をもたらすのでしょうか。そもそも現行の指針・要領は、日々の実践にどこまで根つき、活用されているのでしょうか。

指針・要領は、この国の保育・幼児教育の原理・原則を示すものであり、保育制度や保育行政の在り方にも深く関わっています。

本シンポジウムでは、「保育制度の変遷」が現場の保育にどのような影響を及ぼしてきたかを振り返り、新指針・要領の議論が示す方向性を私たち保育者がどのようにとらえればよいのかを考えます。その手がかりとして、全私保連が提言する『希望の保育指針』と、ご登壇いただく先生方による最新の研究的知見や保育理論を軸に、多角的に検証します。

そして、「主体性・対話・子ども理解」をキーワードに、私たち自身が保育実践の中で何を大切にし、その先にどんな社会を望むのか。保育と社会の未来について、参加者の皆様と共に考えあう時間にしたいと思います。

- 情報交換会

第2日目：分科会

第1分科会 定員：100名

テーマ：「対話する保育カリキュラム」に生命を与える「保育者の専門性」

運営：研修部

講師：加藤 繁美 氏（山梨大学 名誉教授）

趣 旨

「対話する保育カリキュラム」の難しさは「対話」の本質が双方向のコミュニケーションであり生成的であることです。「対話」から何が生みだされ、活動がどこに向かって展開されるかは相手や状況次第で、結果は「対話」してみないとわかりません。

加藤氏によれば、そのような「対話」を支える保育者に求められるのは、「応答的専門性」です。ところが、この「応答的専門性」は一般化することが難しいと氏は指摘します。では保育者はどのようにしてこれを身に着けられるのか。いよいよ「対話する保育カリキュラム」の核心に触れる完結編です。

第2分科会 定員：80名

テーマ：乳児期の育ちはなぜ大切なのか ～0・1・2歳児の学びと保育環境～

運営：研修部

講師：井桁 容子 氏（保育 SoW ラボ 代表）

細田 直哉 氏（国立市幼児教育センター 所長／くにたち未来共創拠点矢川プラス 館長）

趣 旨

指針・要領等の改定（訂）の論点では、0歳から18歳までの「学びの連続性」の大切さが示され、「乳児期の育ち」の重要性が改めて強調されています。

では、0・1・2歳児にとって、「遊びの深まり」や「学び」とは具体的にどのような姿を指すのでしょうか。また、私たち保育者は、日々の保育の中でどのような視点を持ち、どのような実践を目指していけばよいのでしょうか。

本分科会では、乳児期の育ちを支えるために必要な「保育者の丁寧なまなざし（かかわり）」と「保育環境」について、理論（研究者の視点）と実践（実践者の視点）の両面から深く検証していきます。そして、参加される皆さんと共にこれらの視点を共有し、語り合い、学びを深め合う場にしたいと思います。

第3分科会 定員：60名

テーマ：『希望の保育指針』というレンズで、私たちの保育を見つめる ～「自分たちの手で自分たちの暮らしをつくる」実践を語り合い、保育の価値を再発見する～

運営：研修部

講師：久保 健太 氏（大妻女子大学 准教授／全私保連 保育・子育て総合研究機構 研究企画委員会 外部委員）

島本 一男 氏（諏訪保育園 園長／全私保連 保育・子育て総合研究機構 代表）

鈴木 秀弘 氏（和光保育園 園長／全私保連 保育・子育て総合研究機構 研究企画委員会 副委員長）

趣 旨

保育・子育て総合研究機構が策定した「希望の保育指針」は、新しい保育の正解を示すものではありません。日々積み重ねてきた保育を、「希望の保育指針」という新たなレンズで見つめ直し、その中にある子どもの育ちや保育者の願い、自分たちの保育の良さや価値に気づくためのものです。

本分科会では、「自分たちの手で自分たちの暮らしをつくる」というテーマを手がかりに、参加者が対話を通して学び合います。自園では当たり前になっている実践も、仲間と語り合うことで新たな意味や価値が見えてきます。互いの実践を認め合い、それぞれの園らしい保育への自信と希望を育み、明日からの保育につながる学びの場を目指します。

第4分科会 定員：100名

テーマ：すべての子どもに求められる制度の充実に向けて

～今年度の人勧分及び処遇改善制度の取り扱いと「こども性暴力防止法」への対応～

運営：保育制度検討会

講師：松本 和也 氏（株式会社福祉総研 上席研究員）

丸山 純 氏（全国私立保育連盟 常務理事）

趣 旨

保育を取り巻く制度や社会情勢は大きく変化し、引き続き少子化の進行を背景に、園児数の減少や困難を極める保育人材の確保など、保育現場が直面する課題はますます多様化しています。

こうした中、質の高い保育を継続して提供していくためには、保育人材の確保・定着や処遇改善に向けた取り組みを進めることに加え、持続可能な施設運営を支える体制づくりや、子どもたちの安全を守るための環境整備が重要となっています。

本分科会では、最新の制度動向を踏まえた今年度の人勧分や処遇改善制度への理解を深めるとともに、令和8年12月に施行のこども性暴力防止法の概要や留意点、その他保育施設に求められる対応について学びます。

これからの保育施設の役割やあり方を考え、保育の質の向上と安定的な施設運営に向けた今後の取り組みにつなげる機会とします。

第5分科会 定員：60名

テーマ：「これってどう？」 思いを伝え合う職員関係

～こどもの発達理解と保育カウンセリングから心理的安全性を考える～

運営：保育カウンセリング企画部

講師：小野 美和 氏（愛知淑徳大学 准教授）

趣 旨

子どもは一人ひとり感じ方や興味が異なり、その多様さが発達の豊かさを生みだしています。しかし現場においては、集団に入ることが難しい、予定変更で混乱する子どもがおり、保育者としてかわりに迷う場面もあります。こうした姿の背景には、言葉にできない困りごとや特性、クラス集団全体の課題が表れていることがあります。子どもが持つ面白い感性を活かしながら、その子の特性と集団を理解することは特別なことではなく、日々の保育をスムーズにする大切な視点です。

本分科会では、子ども発達理解と実践的なかわりを具体例とともに学び、その視点をチームで共有する方法も扱います。またより実践的に職員間の心理的安全性を育て、子どもと保育者の“らしさ”を支える園文化についてもともに考えたいと思います。

第6分科会 定員：60名

テーマ：保育士の業務負担を軽減し、保育の質の向上に繋げるための AI エージェント活用 ～基礎から実践まで～

運営：事業部

講師：池田 亘希 氏（エイチテクノロジーズ株式会社 代表取締役 CEO）

草間 麻衣美 氏（エイチテクノロジーズ株式会社カスタマーサクセスマネージャー）

巢立 佳宏 氏（昭和学院短期大学 助教）

趣 旨

保育現場においては、記録作成・連絡帳・保育計画・保護者対応など多岐にわたる業務が保育士の大きな負担となっており、子どもと向き合う本来の時間が十分に確保できないことが深刻な課題となっています。一方、生成AIおよびAIエージェント技術は近年急速な進化を遂げており、私たちの生活から働き方は大きく変化するとされています。これらを適切に活用することで業務の効率化と保育の質向上を同時に実現できる可能性がますます広がっています。本分科会では、AI技術の基礎から最新のエージェント活用まで体系的に学ぶとともに、保育AIシステム「hinary」を用いたハンズオン研修を通じて、明日から現場で即実践できるスキルの習得を目指します。役職・年次別に編成したグループワークを通じて参加者同士が課題や活用事例を共有し合いながら、各園における保育AIの導入・実践推進を後押しすることを目的とします。

テーマ：子どもの権利の視点から保育を深める
～子どもの権利条約で読み解く、保育所保育指針・認定こども園要領～

運営：保育・子育て総合研究機構 国際委員会
講師：木附 千晶 氏（子どもの権利条約(CRC)日本代表／文京学院大学 非常勤講師）

趣 旨

散歩中、足を止めてアリを見る子に「早くおいで」と促すのではなく、隣と一緒にしゃがんで同じ視線で寄り添う。子ども一人ひとりの大切な思いや願いに保育者がその声に耳を傾け、気持ちを受け止めながら寄り添うことは、子どもの権利を大切にする第一歩です。

子どもは、守られるだけの存在ではなく、今を生きる一人の人間であり、自分の思いや考えをもつ大切な存在です。保育所保育指針で示されている「待つこと」「見守ること」「受け止めること」は、子どもの権利条約が大切にしている理念と深くつながっています。

本研修では、指針と条約の基本的な考え方を学びながら、子どもとの日々の関わりを見つめます。「いつもの保育」に込められた意味や価値に気づき、子ども一人ひとりを大切にする保育を、皆さんと一緒に考えていきます。

第3日目：記念講演

テーマ：こどもの育ちを支える指針・要領の改定（訂）を考える
～こども・保護者・保育者の「安心と挑戦の循環」からみえるこれからの保育～

講師：秋田 喜代美 氏（学習院大学 教授・こども家庭庁子ども家庭審議会会長・
幼児期までのこどもの育ち部会 保育専門委員会 委員長）

趣 旨

指針・要領の改定（訂）を見据え、今、保育現場には子どもの最善の利益とウェルビーイングを中心に据えた保育の実現が求められています。本講演では、こども家庭庁「はじめの100か月の育ちビジョン」の策定に深く関わる 秋田喜代美 先生をお迎えし、これからの保育の方向性について学びます。

近年、幼児教育では「遊びの深まり」が重要な視点として位置付けられています。遊びが深まるとは、子どもが夢中になって試行錯誤を重ね、友達との対話や協働を通して考えを広げ、自ら遊びを創り出していく過程そのものです。その土台となるのが、安心できる環境の中で挑戦を繰り返す「安心と挑戦の循環」です。

変化の大きな時代だからこそ、園長には子どもも保育者も安心して挑戦できる園文化を育むリーダーシップが、保育者には子どもの思いや遊びの意味を丁寧に読みとり、その育ちを支える専門性が求められます。本講演が、私たち一人ひとりの保育実践を見つめ直し、子ども・保護者・保育者が共に育ち合う保育の未来を考える機会となることを願っています。

日 程

	9:00	11:30				12:30	13:40		14:00	17:00		18:30		
第1日目 (1月20日)					受付	開会	行政説明	運動PR	休憩	シンポジウム		移動	分科会 打合せ	情報交換会
第2日目 (1月21日)		分科会			昼食		分科会							
第3日目 (1月22日)		記念講演		閉会	12:00		13:00				16:30			
	9:30		11:30											

お申込方法

(1) 下記 URL よりWEB 申込画面にお進みいただき、必要事項を入力してお申込み下さい。

申込専用サイト

<https://www.mwt-mice.com/events/hoiku-sogo51>



お申込後、ご登録いただきましたメールアドレス宛に申込完了の通知（登録内容の確認・振込口座）が届きますので、参加費のお振込をお申込みから5営業日以内にお願致します。（参加費のご入金確認後、予約が確定致します）
領収書につきましては、原則振込時の利用明細書をもって代わりとさせていただきます。

(2) 申込み締め切り **2026年12月4日（金）**

定員になり次第、締め切りとさせていただきます。

(3) 取消の場合であっても、参加費は返金致しません。

※ただし、3日間を通して同じ方が参加する条件で代理参加は可能です。

- ・ホテル宴会規約により、会場内へは当方で用意したお弁当以外の食べ物の持込みはご遠慮ください。
- ・欠席された方には、研修会終了後資料をお送りいたします。
- ・交通チケット予約等はお申込み終了後、お客様各自にてご手配ください。

●個人情報のお取り扱いについて

- ・「参加申込書」に記載された個人情報は慎重に管理し、本研修会の運営管理の目的に限って使用いたします。
- ・研修会の参加者名簿には「氏名」「都道府県・指定都市名」「施設・運営主体名」「職種」を記載いたします。
- ・本研修会の申込み受付等に関する業務を名鉄観光サービス(株)に委託実施するため、上記の目的の範囲に加え、宿泊手配等のサービス提供を目的として情報を共有いたします。

●適格請求書（インボイス制度）に関して

当社は適格請求書発行事業者登録業者です。インボイス交付をご要望されるお客様につきましては、お手数ではございますが、下記アドレスまで別途ご連絡を頂きますようお願い申し上げます。

名鉄観光サービス(株)横浜支店

担当：吉永 康明 yasuaki.yoshinaga@mwt.co.jp

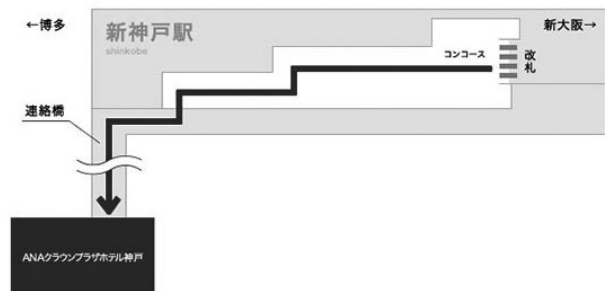
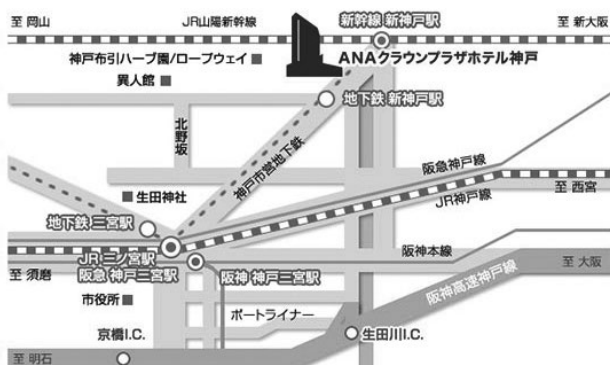
研修内容に関する問い合わせ

(公社) 全国私立保育連盟 事務局 研修部
〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10
TEL：03-3865-3880／FAX：03-3865-3879

申込みに関する問い合わせ

名鉄観光サービス株式会社内
「第51回保育総合研修会」 担当：吉永・佐藤・北川
〒231-0015 横浜市中区尾上町4-52 横浜野村證券ビル5F
TEL：045-641-4166／FAX：045-641-4169

アクセス



JR山陽新幹線・市営地下鉄「新神戸駅」に直結。
神戸の中心地・三ノ宮へは地下鉄で2分。

宿泊プランのご案内（募集型企画旅行）

「第51回保育総合研修会」ご参加のお客様へご来場に便利な宿泊プランをご用意させていただきました。下記プランご参照いただきますようお願いいたします。

ホテル名	部屋タイプ	旅行代金(宿泊料金)	備考
ANAクラウンプラザホテル神戸	シングル利用 (15~22㎡)	15,400円	客室タイプの指定は出来ません
	ツイン利用 (30㎡)	12,100円	2名利用の場合の1名単価

宿泊日 2027年1月20日（水）・1月21日（木）

※前泊、延泊ご希望のお客様はお申込専用サイトの「お問い合わせ」ボタンよりお問い合わせください。

宿泊条件 朝食付、サービス料、消費税が含まれたお1人様1泊あたりの代金

※上記ホテル客室は全室禁煙となります。

※朝食が不要な場合でもご返金は出来ません。個人勘定及びこれに伴うサービス料、諸税は各自でご精算ください。

※ツインをご希望のお客様は申込時に同室者をご指定下さい。

添乗員 同行致しません。

最少催行人員 1名様

<宿泊プランの日程>

日次	行程	食事
1	ご自宅または各地⇒午後：「保育総合研修会」ご参加⇒宿泊ホテル	朝：× 昼：× 夕：×
2	終日：「保育総合研修会」ご参加	朝：○ 昼：× 夕：×
3	午前：「保育総合研修会」ご参加⇒ご自宅または各地	朝：○ 昼：× 夕：×

※ご希望の部屋タイプが満室などの理由によりご手配出来ない場合もございますので、予めご了承ください。

情報交換会のご案内【旅行契約外】

ご希望の方は「情報交換会申込」欄にてお申込下さい。

<日 時> 2027年1月20日（水）

<場 所> ANAクラウンプラザホテル神戸10階「The Ball Room」にて（初日研修会終了後行います）

<費 用> お一人様 11,000円（フリードリンク付/税金・サービス料込）

※1月18日(月)以降のお取消しはお受け出来ません(返金無しとなります)

昼食（お弁当）のご案内【旅行契約外】

ご希望の方は「昼食弁当申込」欄にてお申込下さい。

<日 時> 2027年1月21日（木） ※当日会場にてお渡し

<費 用> お弁当 1食 2,200円（税金込）

※お申込は事前申込みにて承ります(当日販売はいたしません)

※ホテル宴会規約により、会場内へ当方で用意したお弁当以外の食べ物の持ち込みはご遠慮ください。

※1月18日(月)以降のお取消しはお受け出来ません(返金無しとなります)

★「情報交換会」及び「昼食(お弁当)」は旅行契約ではございません。

研修会当日資料の配布方法について

「第51回 保育総合研修会」ご参加のお客様へ

従来の研修会で郵送・当日配布をしておりました「参加券」、「お弁当券」、「研修会 討議資料」につきまして、カーボンニュートラル及びDX化の観点より、お申込者ご自身でダウンロード、印刷をして当日持参いただく方法とさせていただきます。下記、詳細をご確認いただきますよう、よろしくお願いいたします。

●ダウンロード可能内容：すべての研修会資料（参加券類・討議資料等）

※「参加券」「お弁当券」は当日配布いたしませんので、各自で印刷・ご持参いただきますようお願いいたします。

※「討議資料」は事前のダウンロードならびに当日ご使用いただく端末への保存にご協力をお願いいたします。

必要な資料のみ印刷してご持参いただく方法でも構いません。

●ダウンロード可能者：お申込みご担当者

※複数名参加登録をされる際は、お手数ですが必要分ダウンロードいただきまして、ご参加者にお渡しいただきますようお願いいたします。

●ダウンロード開始可能時期：研修会開催の1～2週間程前を予定しております。

※ダウンロード開始可能となりましたら、メールにてお知らせをいたします。

●ダウンロード方法：

専用WEBサイトより参加登録をしていただきました際のメールアドレス、パスワードをご利用いただき、ダウンロードいただけます。詳細は、下記ご参照ください。

登録済の方はここからログインしてください

メールアドレス：

パスワード：

ログイン

 申込者情報	 お申し込み内容	 お支払い
お申し込み連絡担当者情報		
申込No.	87	
申込担当者氏名	名鉄 観光 様	

①専用WEBサイト右側にごございます箇所より、参加登録時のメールアドレス、パスワードをご入力の上、ログインください。

②ご自身の参加登録をご確認いただけるページにログイン出来ますので、必要な書類のボタンを押していただきまして、ダウンロード・印刷をお願いいたします。

ご旅行条件（要約）

お申込みの際には、必ず旅行条件書（全文）をお受け取りいただき、事前にご確認の上お申込みください。
この書面は、旅行業法第12条の4に定める旅行取引条件説明書面及び同法第12条の5に定める契約書面の一部になります。

○募集型企画旅行契約

この旅行は名鉄観光サービス(株)横浜支店（横浜市中区尾上町4-52 観光庁長官登録旅行業第55号。以下「当社」といいます。）が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約（以下「旅行契約」といいます。）を締結することになります。また、旅行条件は、下記によるほか、別途お渡しする旅行条件書（全文）、出発前にお渡しする最終日程表と称する確定書面及び当社旅行業約款募集型企画旅行契約の部によります。

○旅行のお申込及び旅行契約成立

研修申込専用サイトよりお申込ください。 <https://www.mwt-mice.com/events/hoiku-sogo51>
旅行契約は当社が契約の締結を承諾し、旅行代金を受領したときに成立するものといたします。

○旅行代金のお支払

旅行代金は旅行出発日の前日からさかのぼって21日目にあたる日より前（もしくは当社が指定する期日まで）に全額お支払いいただきます。

○旅行代金に含まれるもの

お申込を頂いた各プランに明示した宿泊代及び諸税が含まれます。

○旅行代金に含まれないもの

開催地までの交通費、任意の保険代、その他個人にてご利用の性質のもの

○取消料（旅行代金・宿泊料）

契約解除期日	取消料（お一人様）
旅行開始日の前日から起算して21日目にあたる日以前の解除	無料
旅行開始日の20日目に当たる日以降8日目に当たる日まで	旅行代金の20%
旅行開始日の前日から起算して7日目に当たる日以降前々日に当たる日まで	旅行代金の30%
旅行開始日前日	旅行代金の40%
旅行開始日当日	旅行代金の50%
無連絡不参加及び旅行開始後	旅行代金の100%

○個人情報の取り扱いについて

当社は、旅行申込の際に提出された申込書等に記載された個人情報について、お客様との間の連絡のために利用させていただくほか、お客様がお申し込んだ旅行において宿泊機関等の提供するサービスの受領のための手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。また、研修運営に伴い研修主催事務局へ情報を提出し利用させていただきます。

○旅行条件・旅行代金の基準

この旅行条件・旅行代金は2026年8月31日を基準としております。

旅行業務取扱管理者は、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行契約に関し担当者からの説明にご不明の点があれば、ご遠慮なく上記の取扱管理者にお尋ねください。

＜旅行企画・主催＞ 観光庁長官登録旅行業第55号 一般社団法人日本旅行業協会正会員

名鉄観光サービス株式会社 横浜支店

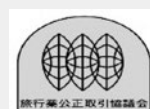
〒231-0015 横浜市中区尾上町4-52 横浜野村證券ビル 5F

TEL：045-641-4166 FAX：045-641-4169

（月～金 9：30～17：30 土・日・祝休み）

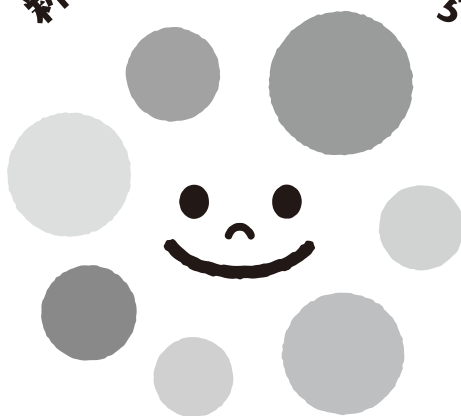
総合旅行業務取扱管理者 吉永 康明

＜担 当＞ 吉永・佐藤・北川



承認番号 K-26-56

新しい時代は子どもから



公益社団法人

全国私立保育連盟